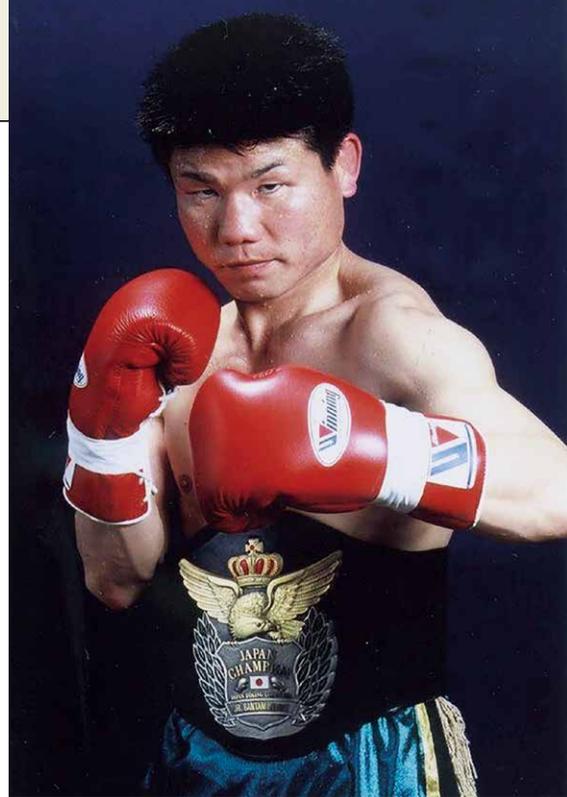


私の好きな  
時間

# ENJOYING MY LIFE

鋸南町建設水道課水道室  
水道技術管理者

佐々木 真吾



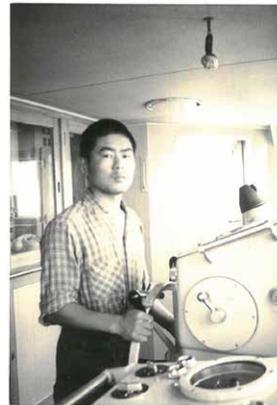
## 1. 人生の分岐点

現役公務員初の日本チャンピオンとして注目され、数多くのマスコミから質問されたことは、「ボクシングを始めたきっかけは？」でした。まずは、そこから書かせていただきます。

私の父親は42歳で他界しました。心筋梗塞でした。当たり前だった生活が一晩で無くなりました。いなくなってから初めて家族愛と父親の偉大さを知りました。その年に鋸南町役場に就職し、夢や希望を持たないまま楽な生活を送っていました。自由気ままな人生に「俺は何をやっているのだろう？」と自分と葛藤していた時期でもありました。

24歳のある時、あることをきっかけに親友と、この

ままの生き方でいいのか、後悔しない人生って何か、真剣に語り合ったのを覚えています。



幸清丸の機関士の父

自分には何ができるのかひたすら考えた結果、亡き父が好きだった過酷なボクシングで俺がのし上がって親父の名を残すことが最大の親孝行になると信じてボクシングの道を選びました。

## 2. セカンドライフ

現在は、公務員の副業にならないように勤務時間外、無報酬で妻の経営するフィットネスジムで楽しくボクシングを教えています。ジムの名は昭和の時代に祖父が起業し、父が機関士を務めていたサバ・サンマ漁船「幸清丸」からもらい形を変えて復活させました。

コウセイボクシング&フィットネスジムでは、美し



日本スーパーフライ級タイトルマッチ（東京後樂園ホール）

い身体を創る場所、人と人をつなぐ場所、笑顔のあふれる場所作りをモットーにしており、毎日たくさんの方の会員さんたちが汗を流しにきております。

人口7,000人の鋸南町ですが少しでも町の活性化に繋がれたらと思っております。



コウセイジムでの練習風景

### 3. 自然に親しむ

鋸南町は自然に恵まれ夏季には海土としてアワビやサザエを獲りに行きます。昔はたくさん獲れましたが、今は温暖化の影響で磯焼けが進んでいて、あまり獲れなくなってきたのが残念です。でも、真っ青な海の中を潜っているときは何も考えずにリラックスできるので獲れなくても満足しています。また、アワビを傷付けないように剥がす緊張感はたまりません。



地元磯場の素潜り

### 4. 神社巡り

いつも健康でいられる事への感謝の気持ちを伝えるに、神社巡りに行くことが私の楽しみの一つでもあります。

神の聖域は神秘的な世界が広がり圧巻です。最近では日本人の心の故郷、三重県の伊勢神宮や神々が

集う島根県の出雲大社に行ってきました。

参拝のあとはいつも清々しい気持ちになり、パワーを戴いた感じがします。御朱印帳も2冊目に突入しました。

平穏な生活は当たり前ものじゃない、「ありがとう」「感謝」の気持ちを忘れずにこれからも過ごしていきたいと思えます。



出雲大社参拝



### 5. 全国穴掘り大会

令和5年2月4日に成田市の成田ゆめ牧場を会場に開催された「第21回全国穴掘り大会」に出場し243cm掘って総合準優勝に輝きました。1チーム最大6人、制限時間20分。ひたすらスコップで穴を掘り、その深さを競うシンプルな大会です。9回目の挑戦で常勝チームには僅かに及びませんでした。水道管の漏水修理などほとんどを職員の直営で

行っているのので、“穴掘りリスト”鋸南町建設水道課直営部隊が全国の穴掘り軍団と同じ土俵に立てたことが嬉しいですね。来年は総合優勝を狙います。町職員として仕事も忙しい中、一つの目標に向かって頑張る後輩たちを誇りに思います。この大会の醍醐味はやはりいろいろな職業の方々との交流できることが素晴らしいです。



第21回成田ゆめ牧場全国穴掘り大会

この大会の醍醐味はやはりいろいろな職業の方々との交流できることが素晴らしいです。

### 6. 最後に

これからも人と人との触れ合いや時間を大切に、そして仲間を大切に、何事にも挑戦していきたいと思えます。

## 2023年度ダクトイル鉄管協会セミナー開催予定

日本ダクトイル鉄管協会では管路に限定することなく、水道事業に関する最新の情報や先進事業体の実例に関するセミナーを学識者や事業体職員を講師に招いて、全国16会場（一部WEB配信）で実施しています。

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
北海道	9月7日(木) 札幌市 終了しました	山口大学大学研究推進機構 特命教授 三浦 房紀 氏	頻発する大規模災害に備える ～最近の地震災害と豪雨災害から学ぶ～
		横浜市水道局 配水部長 木村 大介 氏	水道料金改定と管路更新
東北	11月2日(木) 仙台市 (WEB 併用)	名古屋市上下水道局水道技術管理者建設部長 箕 正人 氏	名古屋市上下水道局が 展開する耐震化プラン
		筑波大学システム情報系 教授 庄司 学 氏	近年の自然災害を踏まえた 水道施設の耐災害性について
	2月21日(水) 盛岡市 (WEB 併用)	日本水道協会総務課課長補佐(総合調整係長) 二宗 史憲 氏	水道における災害対応 ～日本水道協会における共助の仕組み～
		近畿大学経営学部経営学科 教授 浦上 拓也 氏	未 定
関東	7月25日(火) さいたま市 終了しました	日本水道協会総務課課長補佐(総合調整係長) 二宗 史憲 氏	水道における災害対応 ～日本水道協会における共助の仕組み～
		京都大学大学院工学研究科 教授 伊藤 禎彦 氏	水道料金値上げに対する容認度を高めるための コミュニケーション技術
	9月19日(火) 新潟市 終了しました	日本水道協会総務課課長補佐(総合調整係長) 二宗 史憲 氏	水道における災害対応 ～日本水道協会における共助の仕組み～
		鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授 小野 祐輔 氏	2023年トルコ地震における ライフライン被害の特徴
	10月5日(木) 千葉市 終了しました	大阪広域水道企業団経営管理部 副理事 田村 武志 氏	大阪広域水道企業団における広域化(統合)の 取り組みについて
		関西大学環境都市工学部都市システム工学科 教授 飛田 哲男 氏	2023年トルコ・シリア地震による 地盤関連災害報告
	11月14日(火) 横浜市	札幌市水道局 給水部長 村上 文章 氏	北海道胆振東部地震からの復旧と水道施設 維持管理への新技術導入に向けた取組
		千葉大学大学院工学研究院 教授 丸山 喜久 氏	近年の自然災害時における ライフライン施設の機能支障
	12月20日(水) 宇都宮市	豊中市上下水道局技術部水道建設課 主幹 中川 裕義 氏	豊中市における 施設設備および維持管理
		名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山 修久 氏	関東大震災から100年、 これからのレジリエントな水道を考える

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
関東	12月22日(金) 東京都 (WEB開催)	厚生労働省 健康・生活衛生局 水道課長 名倉 良雄氏	未定
		東京大学大学院 工学系研究科 教授 滝沢 智氏	未定
中部	11月30日(木) 名古屋市	新潟市水道局 技術部長 山本 真司氏	新潟市における 「アセットマネジメント水準向上」の取り組み
		東京都立大学都市環境学部特任教授・名誉教授水道システム研究センター長 小泉 明氏	水道技術に関する最近の動向
関西	8月29日(火) 大阪市 終了しました	鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授 小野 祐輔氏	2023年トルコ地震における ライフライン被害の特徴
		千葉県企業局水道部 次長 密本 恒之氏	東日本大震災及び令和元年房総半島台風による 水道施設の被害と対策
	12月11日(月) 神戸市	東京大学 生産技術研究所基礎系部門 教授 清田 隆氏	未定
		全国管工事業協同組合連合会 専務理事 粕谷 明博氏	未定
関西・ 中国四国 共催	11月29日(水) 高松市	名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山 修久氏	災害レジリエントと 水道における文明文化
		盛岡市上下水道局 水道建設課長 山路 聡氏	100年先の次世代へ安心して引き継ぐために ～変化の時代こそ原点回帰～
中国 四国	10月31日(火) 広島市	金沢大学 名誉教授 宮島 昌克氏	上水道防災学のすすめ ー危機耐性と水道施設の強靱化ー
		厚生労働省 健康・生活衛生局 水道課長 名倉 良雄氏	最近の水道行政について
九州	10月12日(木) 福岡市 終了しました	京大大学院工学研究科 教授 伊藤 禎彦氏	水道料金値上げに対する容認度を 高めるためのコミュニケーション技術
		給水工事技術振興財団 専務理事 石飛 博之氏	財団の事業と水道に纏(まつ)わる 最近のトピックス
	11月29日(水) 那覇市	東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科 准教授 荒井 康裕氏	水道管路システムの維持管理と IoT や AI 技術の活用
横浜市水道局 配水部長 木村 大介氏		水道料金改定と管路更新	

## 協会ニュース

### セミナー会場の様子

#### さいたま会場【7月25日】



日本水道協会総務課課長補佐  
(総合調整係長)  
二宗 史憲 氏



京都大学大学院工学研究科  
教授  
伊藤 禎彦 氏



司会を行った  
準ミス日本東海林さん



会場全景

#### 大阪会場【8月29日】



鳥取大学工学部社会システム  
土木系学科 教授  
小野 祐輔 氏



千葉県企業局水道部 次長  
密本 恒之 氏



展示コーナー



会場全景

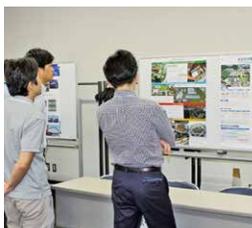
#### 札幌会場【9月7日】



山口大学大学研究推進機構  
特命教授  
三浦 房紀 氏



横浜市水道局 配水部長  
木村 大介 氏



技術相談コーナー



会場全景

## 「下水道展 '23 札幌」に出展しました

8月1日～4日の4日間、札幌ドームで「下水道展'23札幌」が開催され、当協会も「下水道・暮らしの未来を支えるダクトイル鉄管」をテーマに出展。2小間という限られたスペースでもインパクトをもたせるため、ダクトイル鉄管を模した装飾でブースをアピールしました。

ブース内ではモニターでの映像展示や下水道管路の強靱化におけるダクトイル鉄管の役割を紹介するパネル、製品のカットサンプルや耐震管の挙動が分かる模型などを展示し多くの方にご覧いただきました。

会期中は当協会の顧問やスタッフが来場者からの管路構築に関する質問に答える機会も多く、4日間の来場者は約300名となりました。



# HINODE

## IoTを活用した 管網管理の効率化

### 流況監視ユニット

センサで計測した水圧や流量などの流況を  
アンテナとバッテリーを搭載した鉄蓋からクラウドに送信  
事務所やスマートフォンから流況の遠隔常時監視を  
可能にするボックスユニットです



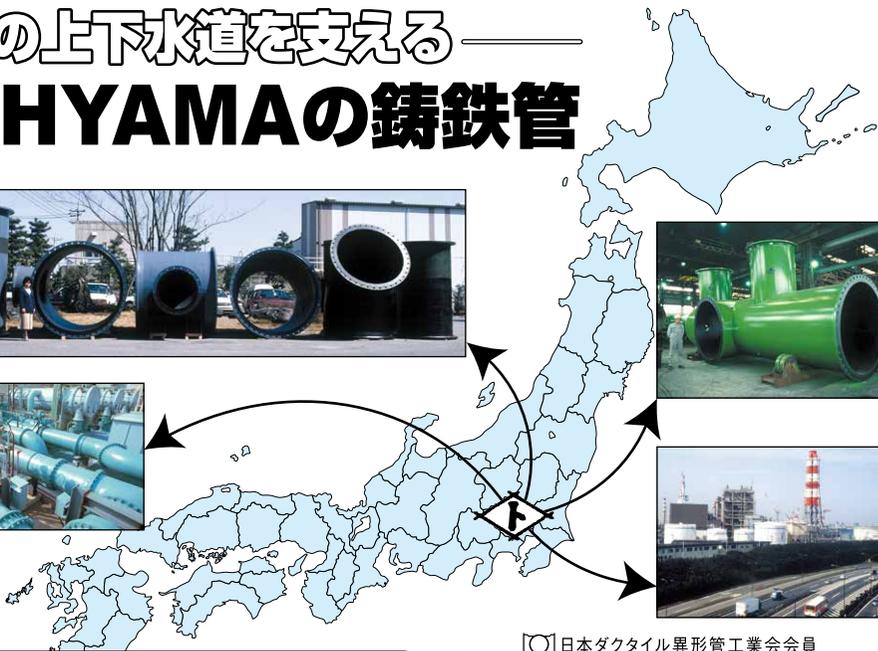
詳しい特長はこちら

日之出水道機器株式会社

本社 / 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング)  
<https://hinodesuido.co.jp>

Tel(092)476-0777

## 日本の上下水道を支える —— TOHYAMAの鑄鉄管



■ 営業品目

上・下水道用 }  
工業用下水道用 } ダクタイル鑄鉄管  
ポンプ用 } (口径75mm~3,000mm)



〔〇〕日本ダクタイル異形管工業会会員

株式会社 遠山鐵工所

本社 埼玉県久喜市菟浦町昭和18番地  
☎0480(85)2111 FAX0480(85)7100

# 浄水場・配水池・水処理センターの建設、更新に 丸マークのフランジ形異形管



豊富な管種、安定した品質、確実な納期で九州鑄鉄管の製品は日本全国で活躍しています。

**丸** 九州鑄鉄管株式会社

<http://www.kyuchu.co.jp>

本社：福岡県直方市大字上新入1660-9

TEL 0949-24-1313

東京支店：東京都千代田区内神田2-7-12 第一電建ビル401号

TEL 03-3525-4551

## ホームページで便覧がダウンロード できるようになりました。



そのほか、各種技術資料もダウンロードできます。



(一社) 日本ダクタイル鉄管協会

## 編集後記

- 巻頭言は、来年度から水道行政が移管されることを受けて、国土交通省水管理・国土保全局下水道部の松原部長に執筆いただきました。来年度の予算の概算要求についても、上下水道が連携した取組みなどにも触れていただいております。上下水道一体の事業運営が期待されるところです。
- 座談会では、当協会が主催している工事イノベーション研究会の第2期が2023年3月に終えたことから、研究会座長を務められている滝沢教授とモデル事業体として参加された会津若松市、明石市、鹿児島市にご参集いただき、語り合っていました。管路更新は、多くの事業体の課題に挙げられています。第1期(2018年5月～)から約5年が経過して、モデル事業体は16事業体となりました。この研究会が全国の事業体の管路更新の課題を議論する場となっています。事業体同士の意見交換は引き続き行うべきで、管路更新以外にも事業体ごとに斬新な取組みがされているので、他事業体との意見交換を行い、業務の見直しや改善に役立ててほしいと滝沢教授からは意見をいただきました。
- 協会ニュースで紹介しておりますが、今年度もダクタイル鉄管協会セミナーを全国7支部16会場で開催します。開催を終えた会場もありますが、今後のセミナーにも多くの方の参加をお待ちしております。

## ダクタイル鉄管第113号〈非売品〉

2023年10月16日発行

編集兼発行人 田 村 聡 志

発 行 所 一般社団法人  
日本ダクタイル鉄管協会  
(<https://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)
		電話03(3264)6655(代) FAX03(3264)5075
関 西 支 部	〒542-0081	大阪府中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)
		電話06(6245)0401 FAX06(6245)0300
北 海 道 支 部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル)
		電話011(251)8710 FAX011(522)5310
東 北 支 部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル)
		電話022(261)0462 FAX022(399)6590
中 部 支 部	〒450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)
		電話052(561)3075 FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)
		電話082(545)3596 FAX082(545)3586
九 州 支 部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)
		電話092(771)8928 FAX092(406)2256

# 水をつなぐ、 しあわせをつむぐ

安心できる水と暮らしている人のために、  
その水をつなぐために努力する全ての人と共に、  
日本鑄鉄管は、技術と知識で  
安心できる暮らしと構造を実装します。



## 日本鑄鉄管株式会社

本社 | 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル ☎ 03-3546-7675  
久喜工場 | 〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼一番地 ☎ 0480-85-1101  
支社 | 北海道支社、東北支社、中部支社、九州支社



[www.nichu.co.jp](http://www.nichu.co.jp)

For Earth, For Life  
Kubota

# ON YOUR SIDE

1890年の創業から「食料・水・環境」の課題解決に向けて歩んできたクボタ。  
これからも一歩一歩、すべての人と心をひとつに、明日へと進み続けます。

株式会社クボタ